

ロシアにおける公共の場所の喫煙規制

《ロシアのたばこ事情》

- 喫煙率（2009年ロシア保健省）：成人：39.1% 成人男子：60.2%
国民一人あたりの年間たばこ消費量：約 2,800 本（中国：約 1,700 本）で世界第 1 位
- 喫煙率は増加傾向：男性 ～1980 年代：46～48% → 1990 年代：50～55%
国民の 80% は公共の場所で受動喫煙をしていると保健省は推計
- 平均寿命の低下：1990 年 69 歳（男 63、女 74）→ 2000 年 63 歳（男 59、女 72）
- 2000 年にプーチン大統領就任後、国民の保健問題への対処を優先政治課題と位置づけ、その一環としてたばこ規制の強化に取り組む。

《ロシア国内のたばこ規制の状況》

2001 年 7 月 「喫煙規制法」：職場、近距離列車、医療施設、教育施設等での喫煙禁止

2007 年 7 月 ソチオリンピック決定

2008 年 6 月 「たばこ規制枠組み条約」(FCTC) 批准

2013 年 2 月 「環境中のたばこの煙による影響及びたばこの消費による影響から国民の健康を保護する法律」(ロシア連邦法) P106～ 第 12 条：喫煙の禁止 P112～

- たばこに関するロシアの法的枠組みを FCTC に完全に適合させることを目的に制定
- 喫煙規制法と比べ喫煙が制限される場所が大幅に拡大
- 施行時期は 4 段階。法施行は 2013 年 6 月

2014 年 1 月～価格統制

2014 年 6 月～飲食店、宿泊施設、駅ホーム、長距離列車等での喫煙禁止

2017 年 1 月～たばこ商品・製品の違法取引防止

2014 年 2 月 ソチオリンピック開催

《ソチ市の状況》

2010 年 1 月 ソチ市議会「ソチーたばこのない町」市民憲章を採択（法的拘束力なし）

6 条 公共の場、公共交通機関において、市民または来市者がたばこの煙に汚染されていない空気を吸う権利を遵守する。～省略～ 特別に割り当てられた場所を除き、喫煙禁止の法律を守る。

2014 年 2 月 ソチオリンピックでは、ロシア連邦法に基づいて規制

資料：外国の立法 258（2013 年 12 月 国立国会図書館調査及び立法考査局）